



ENVIRONMENTAL
REPORT

環境 報告書

 株式会社 **なとり**



目次

■ごあいさつ	3
■会社概要	4
■経営理念	5
■環境方針	6~7
■本社ビル環境負荷	8
■環境取り組みへの沿革	9
■環境会計	10~13
■環境マネジメントシステム体制	14
■2002年度取り組み実績、2003年度目的・目標	15~28

環境報告書の適用範囲

株式会社なとりの環境への取り組みを多くの方々にご理解いただくために2002年度より環境報告書を発行いたします。

対象組織 : 株式会社なとり 本社ビル
対象期間 : 2002年4月1日~2003年3月31日
作成部署 : 株式会社なとり 総務部
連絡先 : 電話 03-5390-8111 (受付)
FAX 03-5390-6711
E-mail support@natori.co.jp
発行日 : 2004年3月31日



ごあいさつ

ごあいさつ

私ども株式会社なとりは、1937年の創業以来、おつまみを主体とする食品メーカーとして、独自の「おつまみコンセプト」を経営理念に掲げ、企業成長を遂げています。

私どもでは、常温で流通でき、手でつまんで食べていただけるものを「おつまみ」と定義しており、幅広い異業種の素材と生産技術を取り込みながら、海産加工品はもとより、乳製品・畜肉製品・魚肉練り製品など、時代の嗜好に合った新しい「おつまみ」を数多く商品化し、今日では、おつまみ業界におけるリーディングメーカーとして揺るぎないポジションを築き上げるまでに成長しております。

お蔭様で、2002年9月より東京証券取引所市場第一部に上場させていただきましたが、これからは企業理念実現へ向けてのイノベーションを基軸にした創造経営を本格的に実行し、環境面を含めた社会的責任(CSR)を追究して、さまざまな環境問題への対応や多くの利害関係者の皆様との共生を実現してまいります。

また、地球環境に与える主要な影響を継続的に改善するべく、2000年6月には本社ビル、2002年12月には埼玉工場において環境方針を掲げました。

今後は持続可能な循環型社会の構築に向け、各工場やグループ会社においても環境マネジメントシステムISO14001認証取得をめざし、食品メーカーとしての社会活動を通じた、人と環境にやさしい企業を目指してまいります。



株式会社なとり 代表取締役会長兼社長

名取小一

会社概要

(2003年3月31日)



商号	株式会社なとり
本社所在地	東京都北区王子5丁目5番1号
電話	03-5390-8111 (受付)
工場数	埼玉県久喜市 一ヶ所 川口市 一ヶ所
事業所数	支店 4ヶ所 営業所 39ヶ所 配送センター 6ヶ所
設立	昭和23年6月
資本金	1,225,125千円
従業員数	627名
事業内容	食料品 (おつまみ各種) の製造・販売
ホームページアドレス	http://www.natori.co.jp/



経営理念

株式会社なとりとそのグループは、自由闊達にして公正で節度ある企業活動により、食文化の創造と発展を通して、顧客満足・株主還元・社会貢献の実現を図り、社会的に価値ある企業として、この会社に係わるすべての人が誇りを持てる会社を目指します。



環境方針

基本理念

株式会社なとりは、「おつまみコンセプト」にもとづき、食品メーカーとしての社会活動を通じ、人と環境にやさしい企業を目指します。

本社ビル基本方針

なとり本社で行う加工食品の販売、マーケティング・製品企画、生産・購買管理及びその他管理諸業務を以下の原則にもとづき、地球環境に与える主要な影響の継続的改善を目的として行います。

1. 環境汚染を防止するため、関連する法規制及び組織が同意するその他の要求事項を遵守します。
2. 資源を有効に活用するため、排出物の削減と再資源化を推進します。
3. 全従業員を対象に環境改善に取り組むための教育・訓練を行い、システムの実施、維持に努めます。

この基本方針は次のように展開します。

- (1) 部門又はフロアごとに自主基準(環境目的・目標を含む)を設定するとともに、業務手順を作成し、計画、評価、見直し、改善を継続的に行うシステムを構築します。
- (2) 資源を有効に活用するため、特に下記項目について重点的に取り組みます。
 - a. リサイクルペーパーの利用及びリユース
 - b. 再資源化を目的としたゴミの分別収集
 - c. 電気、水道の節減
- (3) 環境汚染防止及び資源の有効活用を目的とし製品に関し次のことを実行します。
 - a. できるだけ環境に負荷のかからない製品の企画及び製造工程の開発
 - b. 環境に配慮した安心・安全な製品の開発及び提供
- (4) 環境方針は明文化し、外部からの要求に応じ開示します。

2003年 4月 15日
株式会社 なとり
代表取締役会長兼社長 名取 小一



※本社ビル環境方針は2003年4月15日に改定いたしました。



埼玉工場基本方針

埼玉工場で行う食品の製造に関する事業活動は、以下の原則にもとづき、地球環境に与える主要な影響を最小限に留めます。又、その活動を継続的に改善します。

1. 環境汚染を防止するため、関連する法規制及び組織が同意するそのほかの要求事項を遵守します。
2. 資源を有効に活用するため、排出物の削減と再資源化を推進します。
3. 全従業員を対象に環境改善に取り組むための教育・訓練を行い、システムの実施、維持に努めます。

この基本方針は次のように展開します。

- (1) 食品加工施設であることをふまえ、排気、排水、ゴミの排出量に自主基準(環境目的・目標を含む)を設定するとともに、業務手順を作成し、計画、評価、見直し、改善を継続的に行うシステムを構築します。
- (2) 資源を有効に活用するため、下記項目について重点的に取り組みます。
 - a. 電気、水道、ガス、重油の使用量節減
 - b. ゴミの分別収集
 - c. リサイクル製品の使用とリサイクルの推進
- (3) 環境汚染防止及び資源の有効活用を目的とし、できるだけ環境に負荷のかからない製品及び製造工程の開発を行います。
- (4) 環境方針は明文化し、外部からの要求に応じ開示します。

2002年12月10日
株式会社 なとり
工場長 出島 信臣





本社ビル環境負荷の全体像

本社ビル 環境負荷の全体像

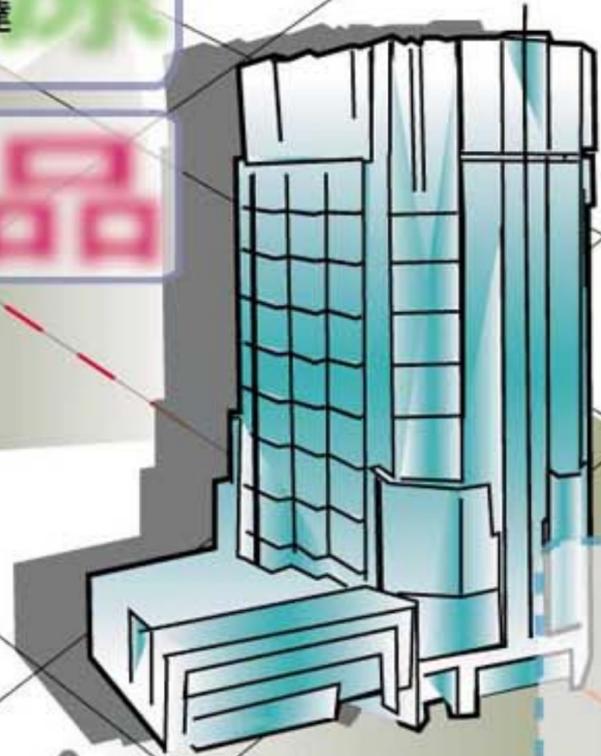
なとりは「おつまみ」という食品を通して
安心 安全 な製品 と **地球環境への配慮**
を考えていきます。

- 電力の使用 (1,149千kwh/年)
- 都市ガスの使用 (8,457m³/年)
- 水の使用 (5,626m³/年)
- 紙資源の消費 (26,504kg/年)
- ガソリンの使用 (12,409ℓ/年)
- 購買におけるグリーン調達

- 製品クレーム発生
- 製品の返品

※数値は本社ビルでの2002年度実績です。
 ※Co2排出量は2003年7月環境省公表の
 「事業者からの温室効果ガス排出量算定方
 法ガイドライン」より算出しました。

本社ビル



INPUT
(投入)

OUTPUT
(排出)

- 電力の使用によるCo2排出 (434,322kg-Co2/年)
- 都市ガスの使用によるCo2排出 (17,831kg-Co2/年)
- 排水 (5,626m³/年)
- ガソリンの使用によるCo2排出 (28,809kg-Co2/年)
- 紙屑の排出 (1,796kg/年)
- 廃棄物の排出 (10,649kg/年)
- 新資源 (太陽・風等) の活用
- 内・外部への環境意識の啓蒙

環境取り組みへの沿革

1996年 7月
株式会社なとり本社ビルを東京都
北区王子に移転。



1997年 4月
ディーゼル車を「7都県市指定
低公害車」に切り替え開始。



1998年 5月
加須市に首都圏配送センターを
移転。環境対策を考慮したロジス
ティック体制を構築開始。

2000年 9月
9/29本社ビルにて環境マネジ
メントシステムの国際規格
ISO14001を認証取得。

2003年 9月
9/29本社ビルにて環境マネジ
メントシステムの国際規格ISO
14001を再認証取得。

2003年11月
11/29埼玉工場にてISO
9001に続き、環境マネジメント
システムの国際規格ISO
14001を認証取得。





環境会計

環境会計の目的

株式会社なとりは、環境保全への取り組みを効率的かつ効果的に推進していく為、2002年度より本格的に環境会計導入に取り組んでいます。

環境会計を導入する目的と致しましては、次の2点が挙げられます。

- (1) コストと効果を認識し、可能な限り定量的に測定することによりコスト削減を図り、環境経営に適切に反映していきます。
- (2) 社内外に情報を開示することにより、環境意識の向上を促し環境保全活動の理解を深めると共にコミュニケーションを図ります。

導入初年度ということもあり、試行錯誤の中での公表となりますが、少しでも社内外での有効活用が出来るように努めていきます。

環境会計の集計にあたって

- ・環境省「環境会計ガイドライン2002年版」に準拠して作成
- ・集計期間：2002年度（2002年4月1日～2003年3月31日）
- ・集計対象：株式会社なとり

環境保全コスト

単位：千円

分類	主な取り組み内容	投資額	費用額
事業エリア内コスト	公害防止コスト 車両燃料費 ボイラー管理費 廃水処理設備管理費 他	—	28,737
	地球環境保全コスト 省エネ対策 クーリングタワー修理 他	—	1,305
	資源循環コスト 廃棄物処理・処分費用 他	—	27,533
	小計	—	57,576
上・下流コスト	容器包装リサイクル費用 他	—	6,234
環境活動コスト	社員教育、ISO査察費用 他	—	5,818
研究開発コスト	原料屑の有効利用研究 他	—	2,277
社会活動コスト	清掃活動	—	7
環境損傷対応コスト	—	—	—
	合計	—	71,914



環境保全コストの算定基準

- (1) 直接識別できる場合は、当該額を環境保全コストとして集計しています。
- (2) 複合コストの計上基準
コストの総額から環境保全コストの金額を集計しました。但し、差額集計及び按分の難しいコストに関しては、原則として計上を差し控えています。

【計上を差し控えたもの】

- ① Nox対応車導入費用 … 大気汚染防止に取り組んでおり、「自動車Nox-PM法」に対応した車両への切り替えを順次行っています。
2003年3月末現在、所有車両294台の内63台は切り替え済。
(全体の21%)
- ② 非塩素系材質資材の導入 … 燃やしても有害物質の発生しない包装資材を導入しています。
2002年度、包装資材1,834,224千円の内、非塩素系材質資材は1,768,368千円となっております。
(全体の96%)
- ③ グリーン購入 … 環境負荷の少ない事務用品を購入しています。
2002年度、事務用品購入金額5,527千円の内、グリーン購入は3,041千円となっております。
(全体の55%)

(3) 減価償却費

過去のデータ把握と算定が困難な為、計上していません。

(4) 人件費

環境保全に関わる作業時間×時間あたりの標準的な賃金によって求めています。



環境保全効果

項目	使用量	Co2排出量 計算式	Co2排出量 (kg-Co2)
電力使用量(kwh) 2001年度 2002年度 前年度比 目標 実績	1,146,000 1,149,360 3,360 3.6%削減 0.3%増加	kwh×0.378	433,188 434,458 1,270
ガス使用量(m ³) 2001年度 2002年度 前年度比 実績	8,905 8,457 △448 5.0%減少	m ³ ×41.1(MJ) ×0.0513	18,776 17,831 △945
水道使用量(m ³) 2001年度 2002年度 前年度比 目標 実績	7,283 5,626 △1,657 11.0%削減 22.8%減少		
ガソリン消費量(ℓ) 2001年度 2002年度 前年度比 実績	12,996 12,409 △587 4.5%減少	ℓ×34.6(MJ) ×0.0671	30,172 28,809 △1,363
廃棄物排出量(kg) 2001年度 2002年度 前年度比 目標 実績	11,549 10,649 △900 2.0%削減 7.8%減少		

	Co2排出量 (kg-Co2)	
2001年度	482,136	0.2%減少
2002年度	481,098	
前年度比	△1,038	



環境会計

環境保全効果の算定基準

- ・集計対象は株式会社なとりであります。本社ビルのみでのエネルギー消費量、CO₂排出量を記載しています。
- ・環境保全コストの各分類に対応させて集計するのが困難なため、項目別に記載しています。
- ・CO₂排出量は2003年7月環境省公表の「事業者からの温室効果ガス排出量算定方法ガイドライン」より算出しました。

環境保全効果に伴う経済効果

単位：千円

内容	金額
副産物売却収入	18,313

環境保全効果に伴う経済効果の算定基準

- ・確実な根拠に基づいて算出できるものに限って計上しています。

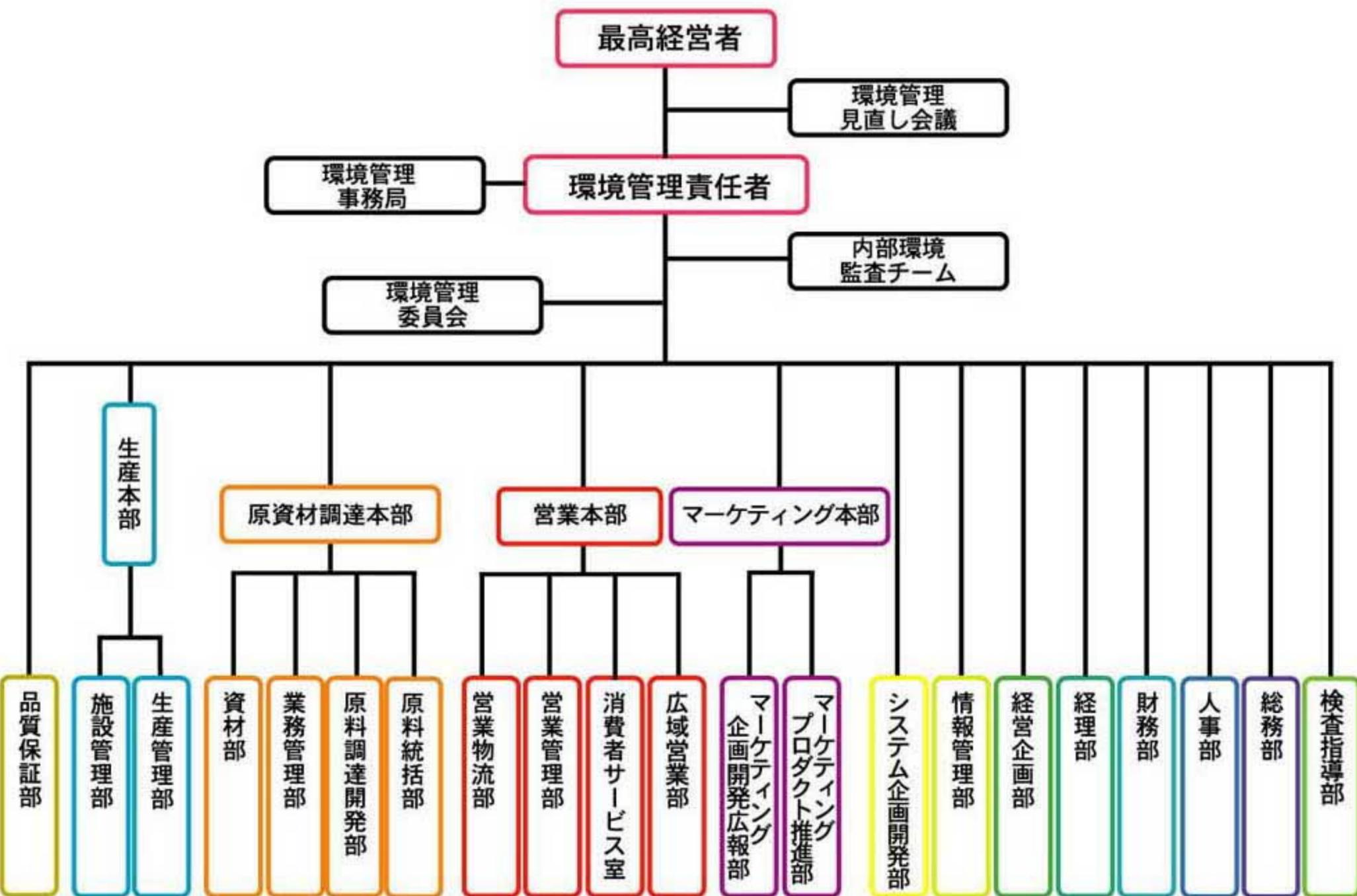
今後の展望

- ・集計対象について
今回は株式会社なとりのみで集計していますが、徐々に対象範囲をグループ各社に広めていき、なとりグループとして環境保全への取り組みを効率的かつ効果的に推進していきます。
- ・環境管理会計について
今回は初めて環境会計を導入し、環境保全コスト、環境保全効果、環境保全効果に伴う経済効果の把握に努めました。
今後は環境管理会計として有効活用を図るため、ISO14001との連動も考えながらコスト及び効果の把握を行います。
- ・環境保全効果について
今回は本社ビルで使用するエネルギーの消費量に関しては把握していますが、各工場及び営業所単位では把握できていません。
今後はエネルギー消費量を各営業所、各工場単位で把握できる体制作りを努めていき、グループ各社に広めていきます。

環境マネジメントシステム体制

株式会社 なとり 本社

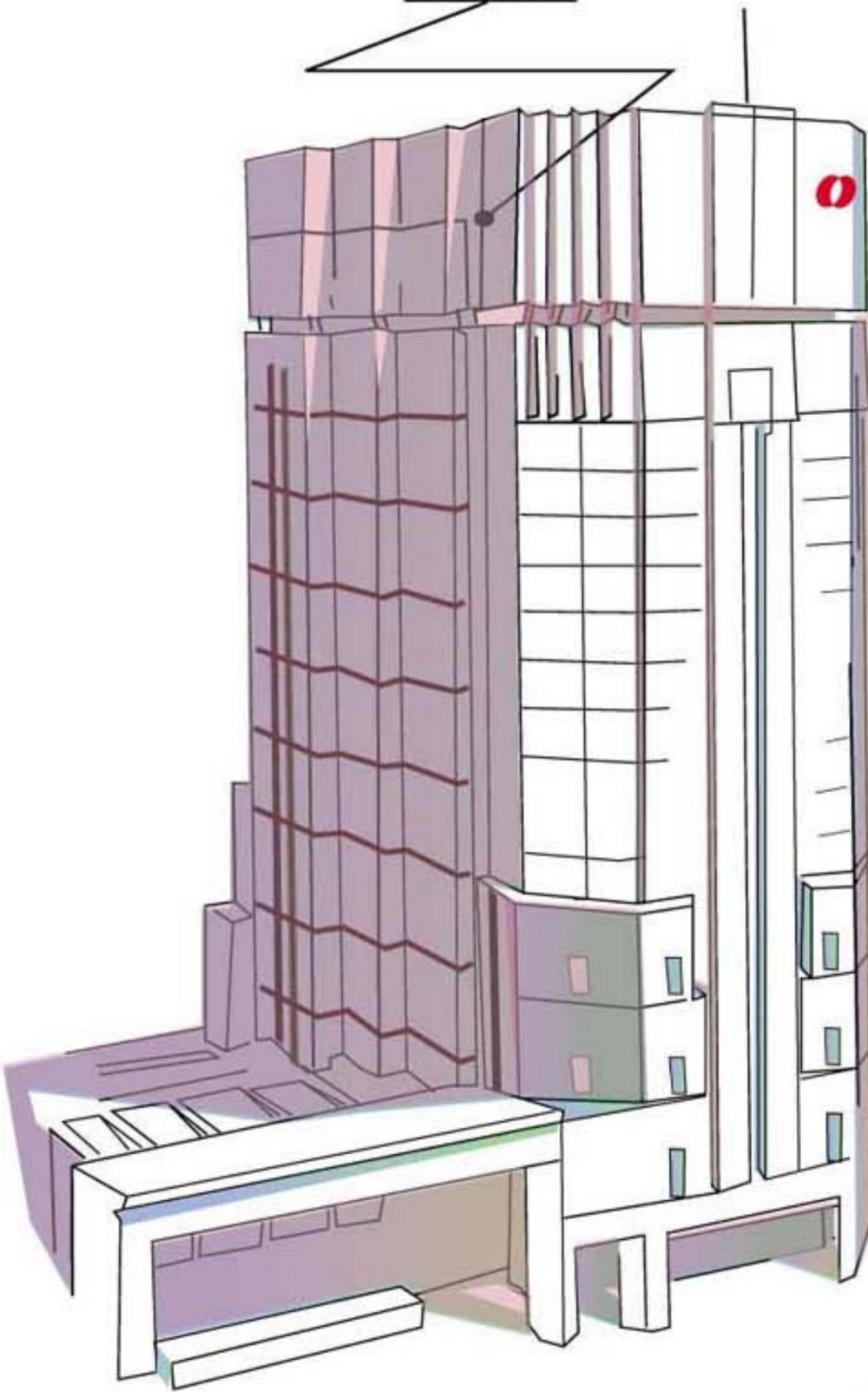
2003年3月31日 現在



- ◇環境管理責任者は、最高経営者の命を受け環境方針、環境目的、目標を達成するために環境保全活動組合組織を構築する。
- ◇各部門長は、各部門に環境管理委員をおく。
- ◇環境管理責任者は、環境管理委員を構成メンバーとして、なとり本社環境管理委員会を設置する。
- ◇環境管理責任者は、必要な教育を受け、内部環境監査員として、社内資格認定されたものを構成メンバーとして内部監査チームを設置する。
- ◇環境管理責任者は、総務部内に環境管理事務局を設置する。
- ◇各部門の環境管理委員は、部門内の環境保全活動組織を構築する。

本社ビル、環境目的・目標 ・実績一覧

本社



省エネルギー **目的** 電力の消費量を2003年までに1999年実績の-10%とする

目標 2001年実績の-3.6%
(1999年実績の-10%)

実績 電力の消費量は上半期は前年比▲4.92%であったが、下半期の人員・残業の増加から昼間の電力消費量が増加した。電力全体では前年比▲0.63% (1999年比▲13.08%) となり、目標未達成ながら、目的の▲10%は達成した。

省資源 **目的** 水道の使用量を2003年までに1999年実績の-10%とする

目標 2001年実績の-11%
(1999年実績の-10%)

実績 水道の使用量については、前年度、食堂及び滝の漏水を修理した結果、上水道前年比▲25.73%。工業用水道も「雨水利用」により前年比▲22.61%となり目的・目標達成。

廃棄物 **目的** 紙屑の廃棄量を2003年までに1999年実績の-8%とする

目標 2001年実績の-2%とする
(1999年実績の-72%)

実績 紙屑の廃棄量は更なる紙の裏面使用徹底やりサイクル古紙への分別で前年比▲20.48% (1999年比▲89.21%) となり、目的・目標達成。

製品

目的 2003年までに現製品 (2000年4月時点) の70%と新製品に関し、パッケージに材料記号表示、分別方法の表示をする

目標 すべての製品に関し、パッケージに材料記号表示、分別方法の表示をする

実績 パッケージに材料記号表示、分別方法の表示については新製品673アイテムと改版のすべてを変更完了。目的・目標達成。

大気汚染

目的 2007年までにディーゼル車をすべて低公害車に切り替える

目標 2000年度内に現在使用中のディーゼル車の90%を低公害車に切り替え

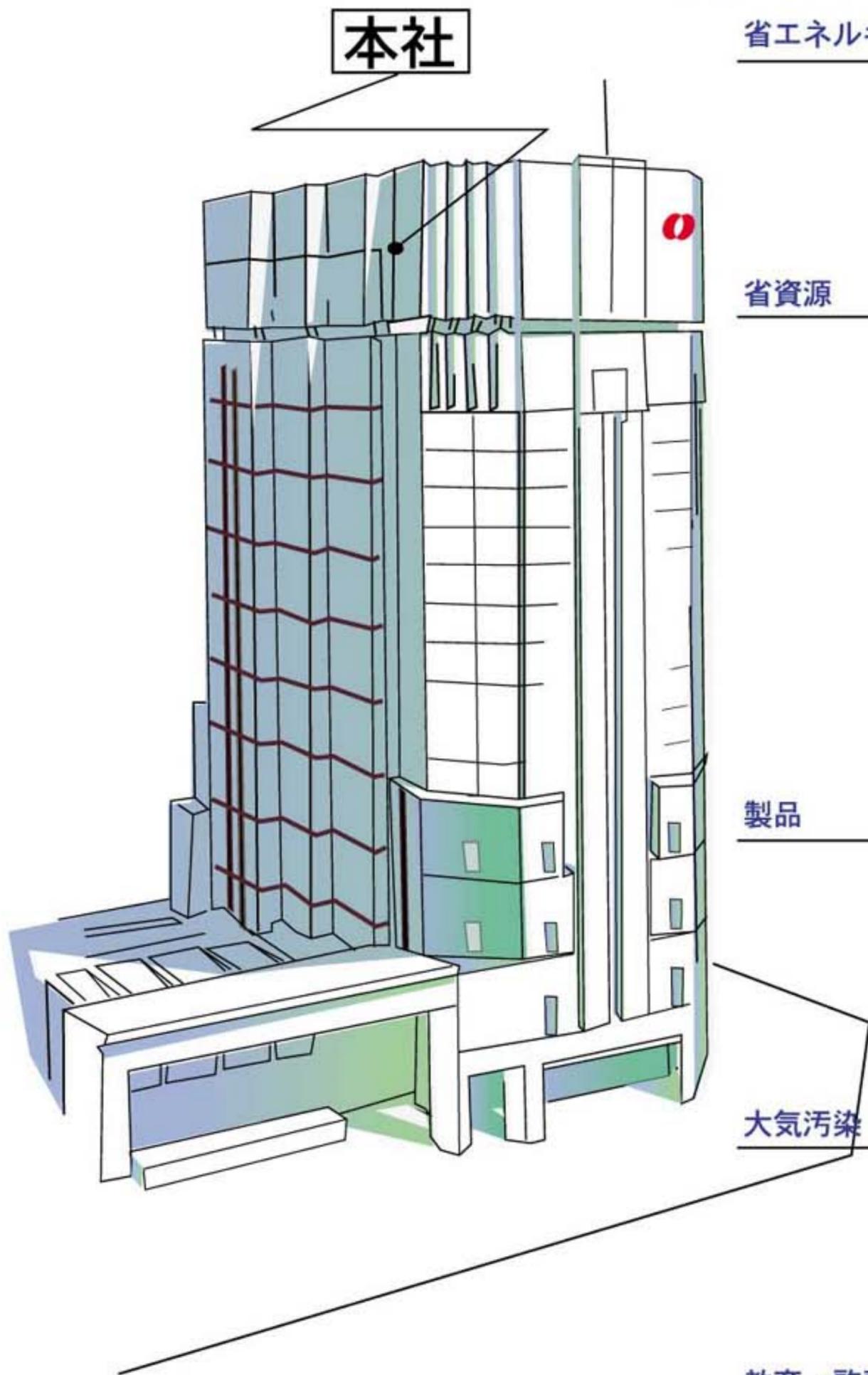
実績 本社管理車両を今年度8台「8都府県指定低公害車」に切り替えたが、目標設定時のディーゼル車台数の確認が誤っていたため目標未達成となった。なお、現在は管理車両39台の内ディーゼル車数12台でディーゼル車すべてが低公害車ではない。



2002年度取組実績
2003年度目的・目標

2003年度

本社ビル、環境目的・目標 ・具体的施策



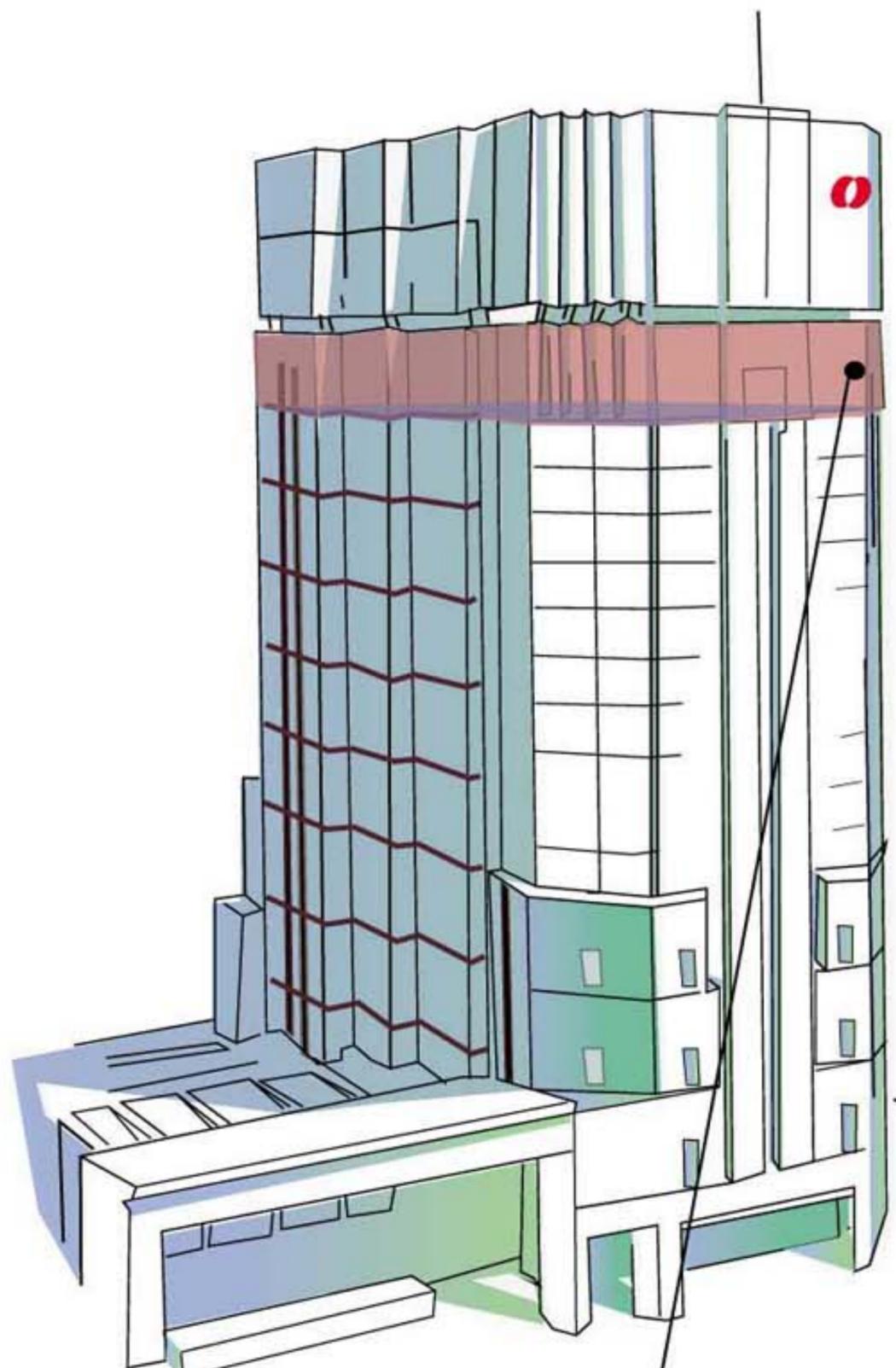
- | | | |
|--------|--------------|--------------------------------|
| 省エネルギー | 目的 | 電気使用量を削減する |
| | 目標 | 売り上げあたりの電気使用量を2002年度比1%削減 |
| | 具体的施策 | ・節電の励行（消灯・エレベーターの使用制限） |
| 省資源 | 目的 | 水使用量を削減
紙使用量を削減する |
| | 目標 | 売上あたりの水・紙の使用量を2002年度比1%削減 |
| | 具体的施策 | ・節水の励行
・ペーパーレス化の推進 |
| 製品 | 目的 | 製品の返品を削減する |
| | 目標 | 売上あたりの製品返品金額を2002年度比3%削減 |
| | 具体的施策 | ・製品の返品額を削減 |
| 大気汚染 | 目的 | 安心・安全な製品の提供
製品クレーム発生 の撲滅 |
| | 目標 | 製品クレームの発生件数を前年比80%以下にする |
| | 具体的施策 | ・製品クレームの削減 |
| 教育・啓蒙 | 目的 | 当社使用の車両をすべて8都県市指定低害車に入れ替える |
| | 目標 | 2003年度内に現在使用中のディーゼル車4台を低公害車に切替 |
| | 具体的施策 | ・ディーゼル車を低公害車に切替 |
| 教育・啓蒙 | 目的 | 内・外部全ての利害関係者の環境意識の啓蒙 |
| | 目標 | 環境意識向上に向けての啓蒙活動の実施 |
| | 具体的施策 | ・外部に向けた環境意識の啓蒙活動 |
| 教育・啓蒙 | 目標 | 本年度中に環境報告書のWeb上での公開 |
| | 具体的施策 | ・環境報告書のWeb上での公開 |



2002年度取組実績
2003年度目的・目標

2003年度

本社ビル、環境目的・目標 ・具体的施策



10階

省エネルギー **目的** 電気使用量を削減する

目標 2002年度実績の-2.5%

具体的施策

- ・節電の励行（消灯）
- ・各部屋の未使用時は照明、エアコンをOFF
- ・10階の電灯使用時間の記録をとる

省資源 **目的** 水使用量を削減

目標 2002年度実績の-2.5%

具体的施策

- ・節水の励行
- ・音姫使用及びタンクにペットボトルを沈め流水量を削減

目的 紙使用量を削減する
紙屑廃棄量を削減する

目標 2002年度実績の-2.5%

具体的施策

- ・上質紙使用の削減
- ・裏紙使用の励行
- ・コピー、プリンターで積極的に裏紙使用
- ・紙コップ使用量削減

教育・啓蒙 **目的** 内・外部への環境意識啓蒙

目標 内部へ家庭でできる環境取り組みをひろめる。

具体的施策

- ・家庭でできる環境取り組みをメール等を使用し従業員及びその家族にひろめる。

目標 来客等に環境に関するパンフレット配布等

具体的施策

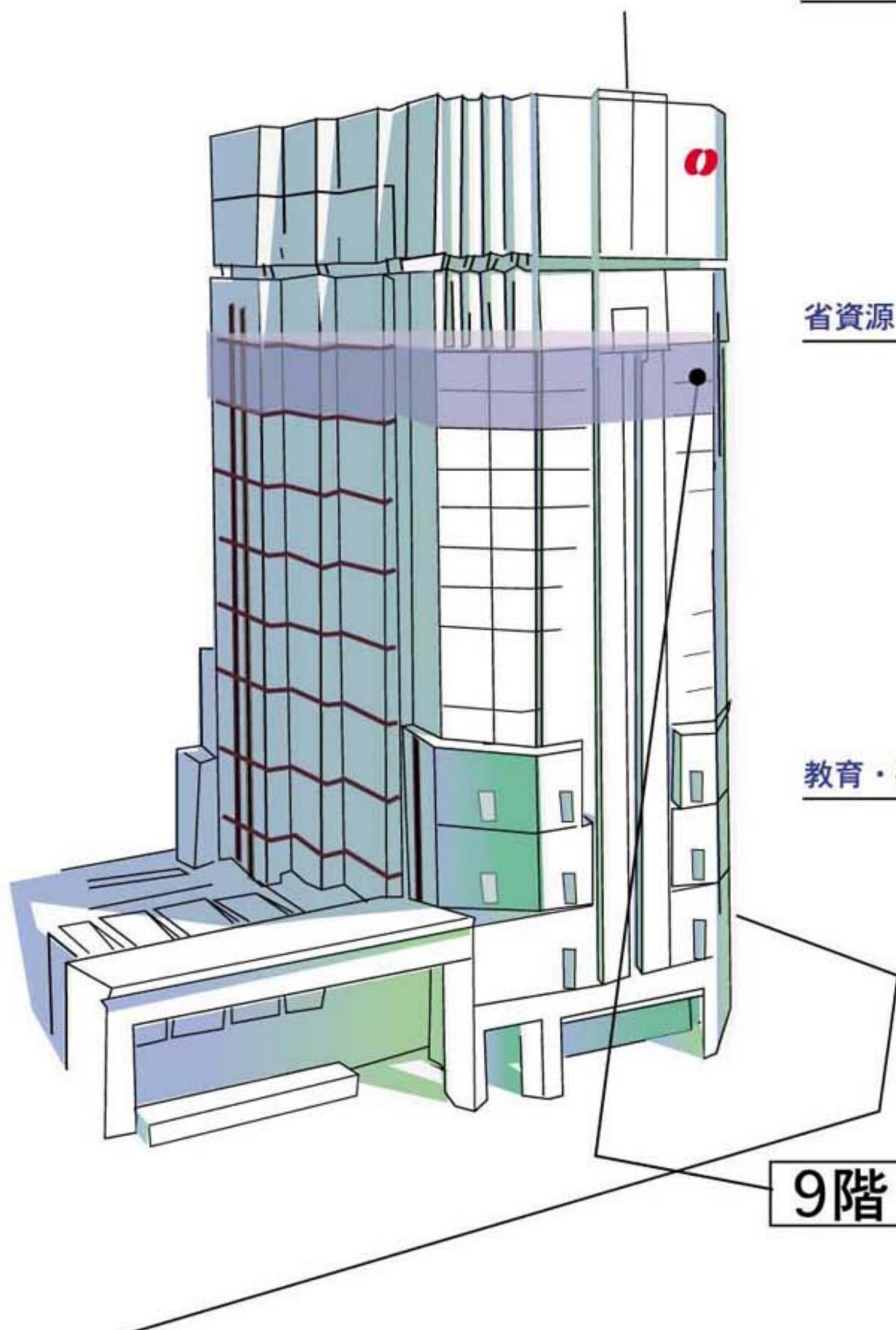
- ・来客等に環境に関するパンフレット配布等



2002年度取組実績
2003年度目的・目標

本社ビル、環境目的・目標 ・具体的施策

2003年度



9階

省エネルギー **目的** 電気使用量を削減する

目標 2002年度実績の2.5%削減

具体的施策

- ・節電の励行（消灯、エレベーターの使用制限）

省資源 **目的** 紙使用量を削減する

目標 2002年度実績の2%削減

具体的施策

- ・紙屑の廃棄を減らし、リサイクル向古紙の回収を増やすため分別を徹底する
- ・上質紙の使用削減（使用済上質紙の裏面再利用の励行、Eメールによるペーパーレス化）

教育・啓蒙 **目的** 内・外部すべての利害関係者の環境意識の啓蒙

目標 環境意識向上に向けての啓蒙活動の実施

検査指導部の監査実施先（主に営業所）で環境に関する指導及び監査を行う

具体的施策

- ・事業報告書、会社説明会資料等IR資料に当社の環境への取り組みを記載する

目標 本年度中に環境報告書のWeb上での公開

具体的施策

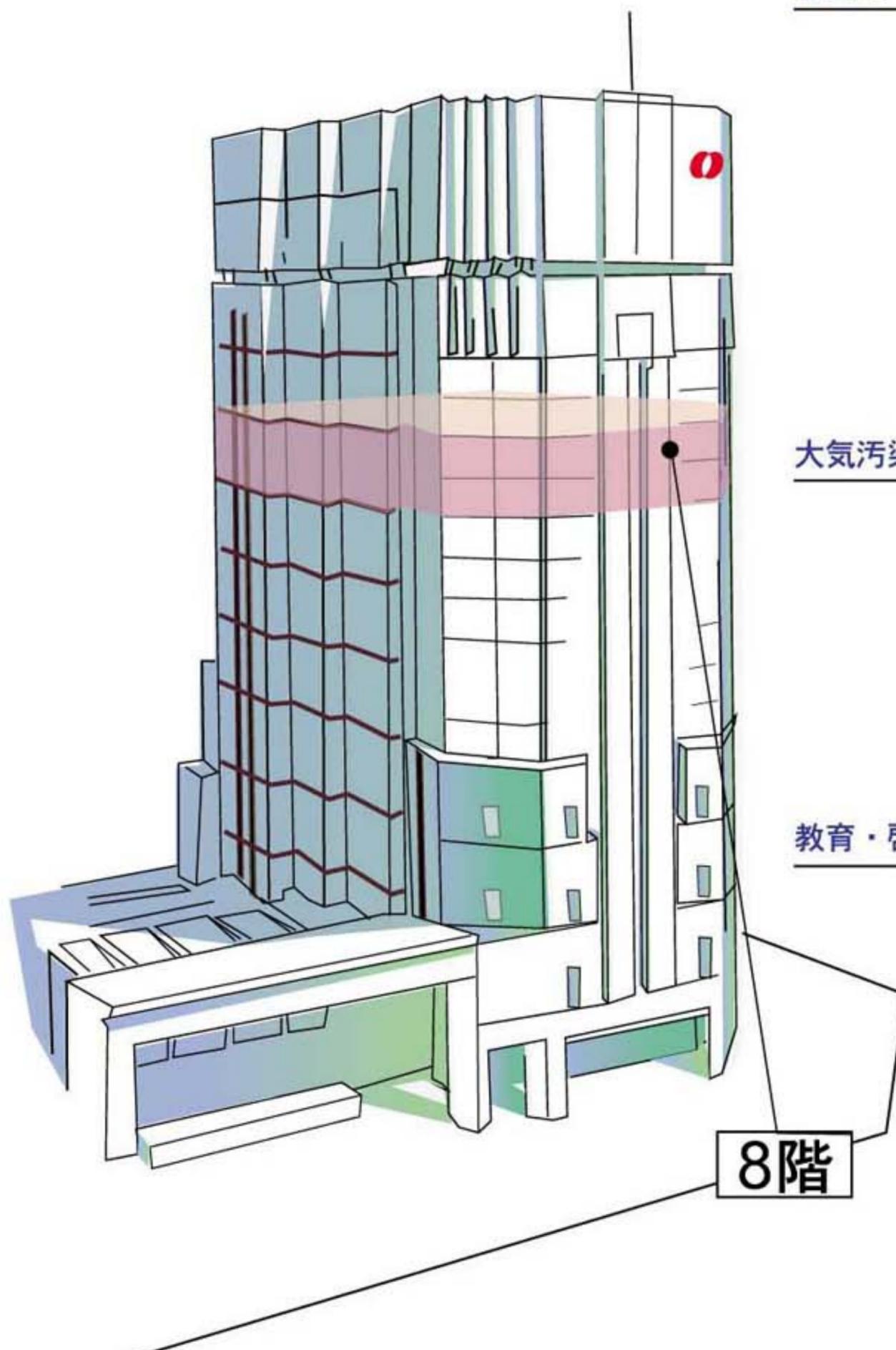
- ・環境報告書のWeb上での公開



2002年度取組実績
2003年度目的・目標

2003年度

本社ビル、環境目的・目標 ・具体的施策



省資源

目的 紙使用量の削減

目標 当社専用納品書を使用している業者を減らす
銀行から送られてくる当座照合表の削減

具体的施策

- ・当社専用納品書を使用している業者を減らす
- ・銀行から送られてくる当座照合表の削減

大気汚染

目的 CO2の排出の削減

目標 銀行廻りに使用する自動車の利用を減らす

具体的施策

- ・銀行廻りに使用する自動車の利用を減らす

教育・啓蒙

目的 内部・外部にむけての環境意識の向上

目標 環境報告に載せる環境会計を作成する

具体的施策

- ・環境報告書に載せる環境会計を作成する

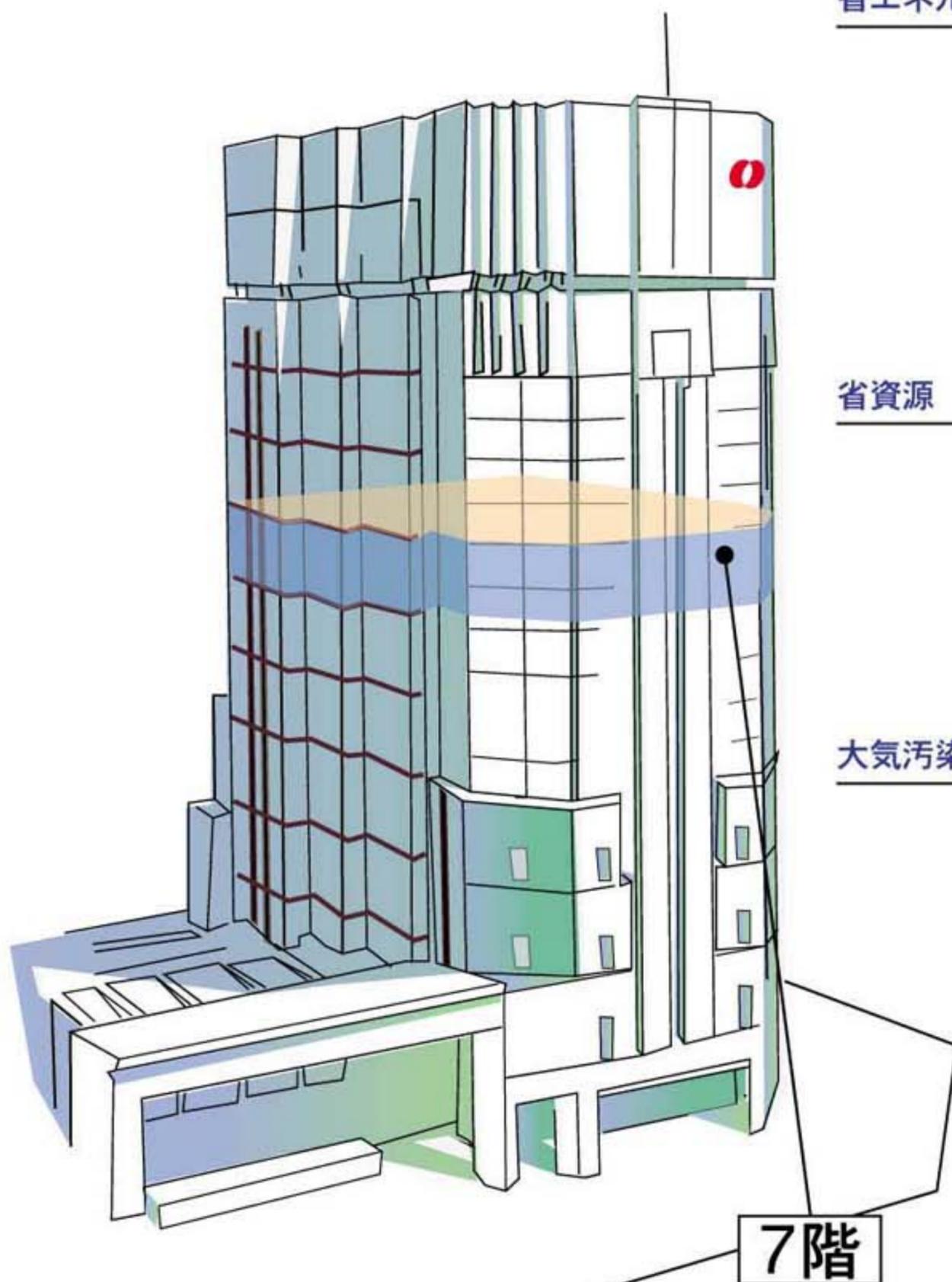
8階



2002年度取組実績
2003年度目的・目標

2003年度

本社ビル、環境目的・目標 ・具体的施策



省エネルギー **目的** 浦和寮・豊島寮でのエネルギー資源の無駄使いをなくす

目標 浦和寮の電気使用料金を2002年度実績の2% (1人・1ヶ月) 削減する

具体的施策

- ・寮生に協力要請・指導を行い、節電を励行する

省資源 **目的** 事務用品・消耗品を評価し環境保全を推進する

目標 2003年度アセスメントチェックにより5品目導入する

具体的施策

- ・グリーン購入

大気汚染 **目的** 低公害車への切り替えにより、排出ガスの削減を図る

目標 2003年度内に現在使用中のディーゼル車の4台を低公害車切り替える

具体的施策

- ・ディーゼル車を低公害車切り替える

目的 事故の削減による負荷の低減に努める

目標 事故件数の2002年度の2%削減

具体的施策

- ・車両事故削減

教育・啓蒙 **目的** 内部、外部の利害関係者の環境意識を向上させる

目標 2003年に行われる学生への説明会 (10人以上の規模) で環境活動を紹介する

本社内部監査員を20名増やす

具体的施策

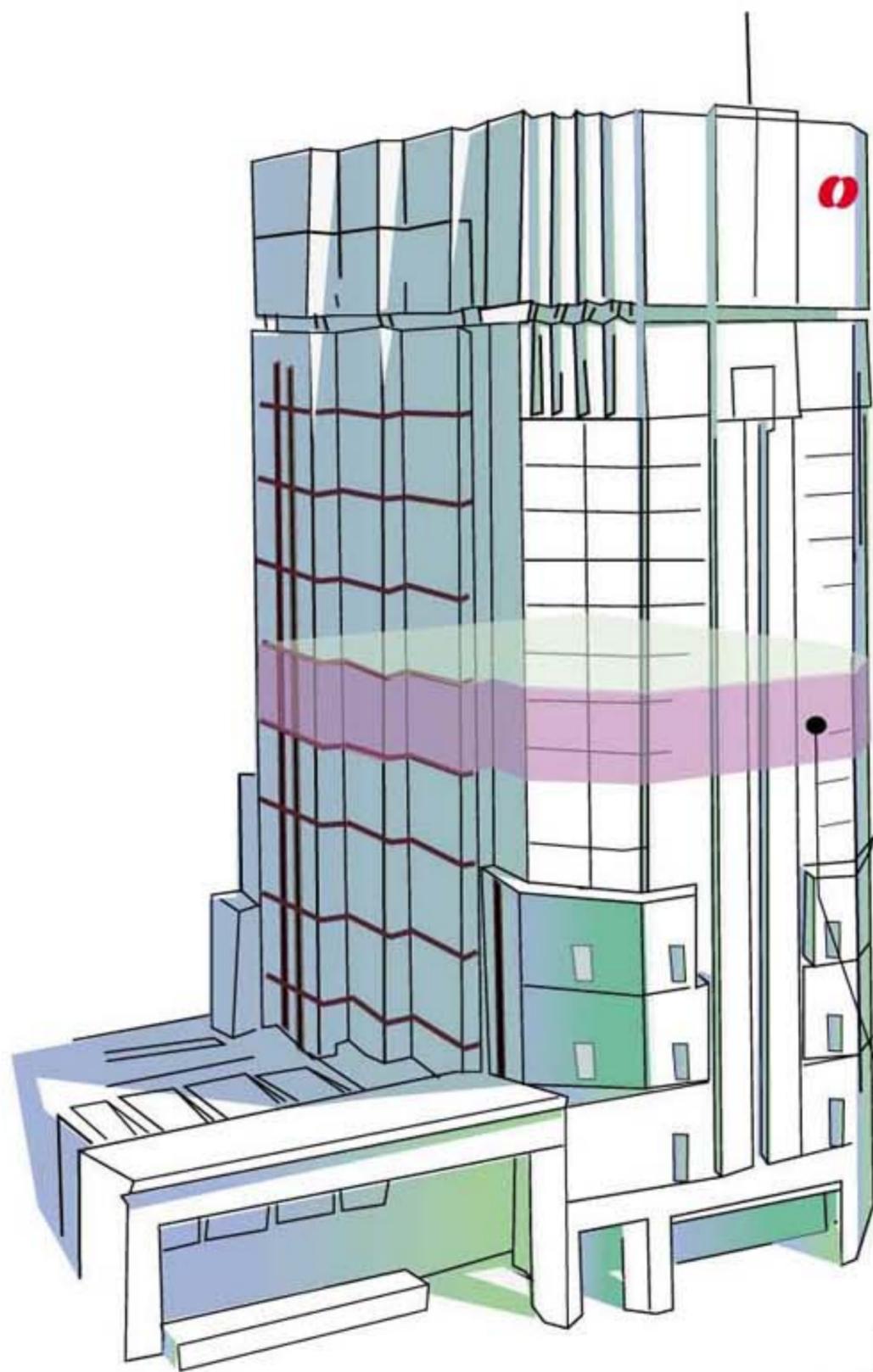
- ・説明会で当社が取り組んでいる活動について説明する
- ・特に内部監査員が手薄な部署を中心にリストアップし、内部監査員の資格を取得させる



2002年度取組実績
2003年度目的・目標

2003年度

本社ビル、環境目的・目標 ・具体的施策



省エネルギー **目的** 電気使用量を削減する

目標 電気使用量を2002年度比1%削減

具体的施策

- ・節電の励行
(消灯、エレベーターの使用制限)
(コンピューター室温度 1度UP)

省資源 **目的** OA機器廃棄物の削減

目標 OA機器再リース
プリンタリボンの再利用

具体的施策

- ・PCプリンタの再リース
- ・ノートPC・液晶ディスプレイの使用
- ・プリンタリボンの再生利用

目的 紙使用を削減する

目標 システム化による紙使用の削減

具体的施策

- ・システム化による紙使用の削減

教育・啓蒙 **目的** 内部環境意識の向上

目標 ISOに関する伝達事項を社内で誰でもみれるようにする

具体的施策

- ・ISOボードをWebページで作成し、伝達事項を書き込めるようにする

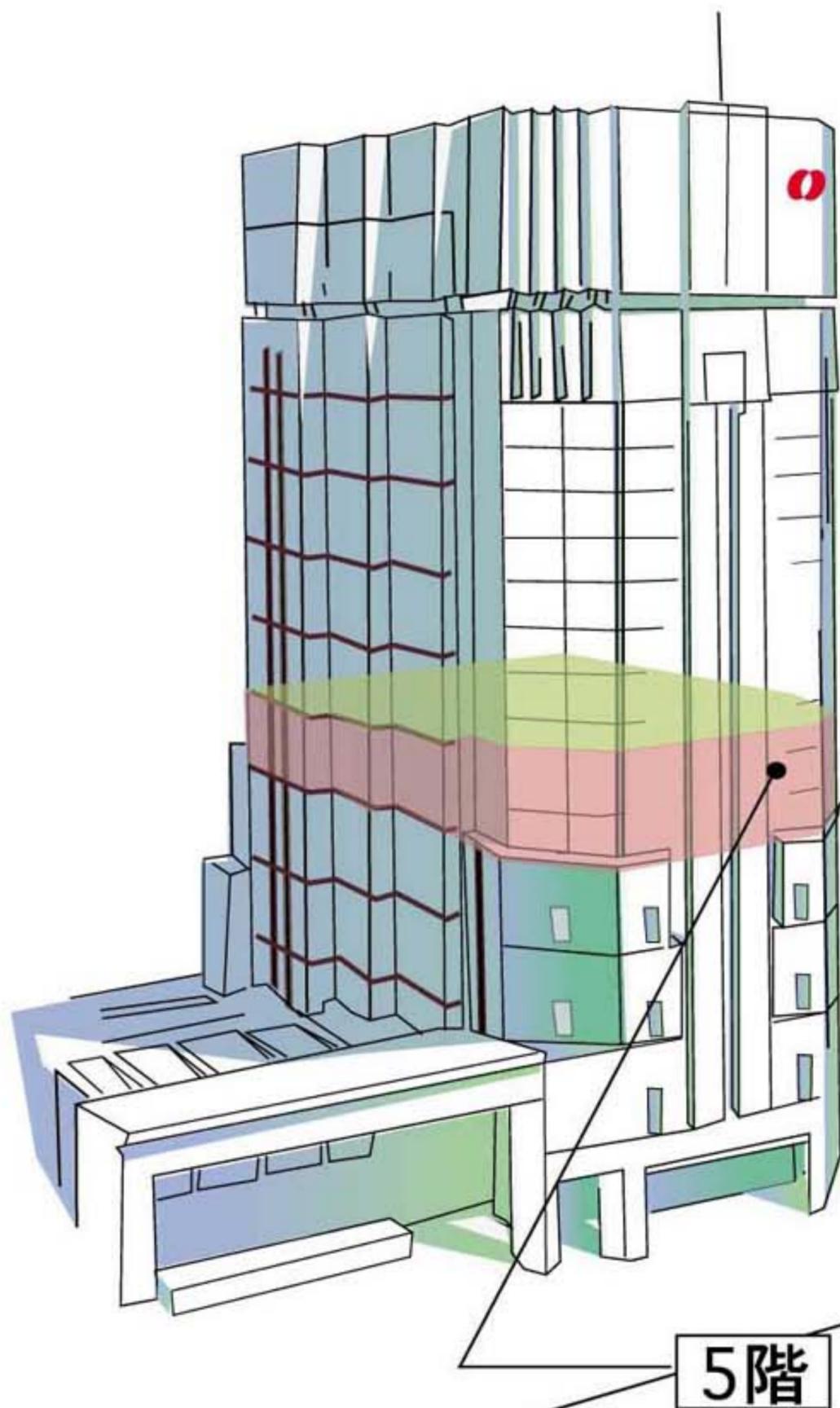
6階



2002年度取組実績
2003年度目的・目標

2003年度

本社ビル、環境目的・目標 ・具体的施策



省エネルギー **目的** 電気使用量を削減する

目標 2002年度実績の1%削減

具体的施策

- ・節電の励行（消灯、エレベーターの使用削減、空調の使用制限、パソコンの省エネ、電池の再利用）

省資源 **目的** 紙使用量を削減する

目標 2002年度実績の1%削減

具体的施策

- ・紙屑の廃棄減らし、リサイクル向け古紙の回収を増やすため、分別を徹底する。
- ・メールを使用した連絡の推奨
- ・リユース紙の在庫切れを無くす為にリユース紙裁断分担表を作成し、管理する。

製品 **目的** 安心、安全な製品の提供

目標 トレーの材質、厚みの見直し

具体的施策

- ・トレーの材質、厚みの見直し

目的 製品クレームの撲滅

目標 製品クレーム発生件数を前年比80%以下にする

具体的施策

- ・クレームの分析と対策
- ・袋資材仕入先へHACCP手法による品質管理指導

教育・啓蒙 **目的** 内・外部すべての利害関係者の環境意識の向上

目標 外注先に対する、月1度の勉強会、環境連絡表による環境意識の向上

具体的施策

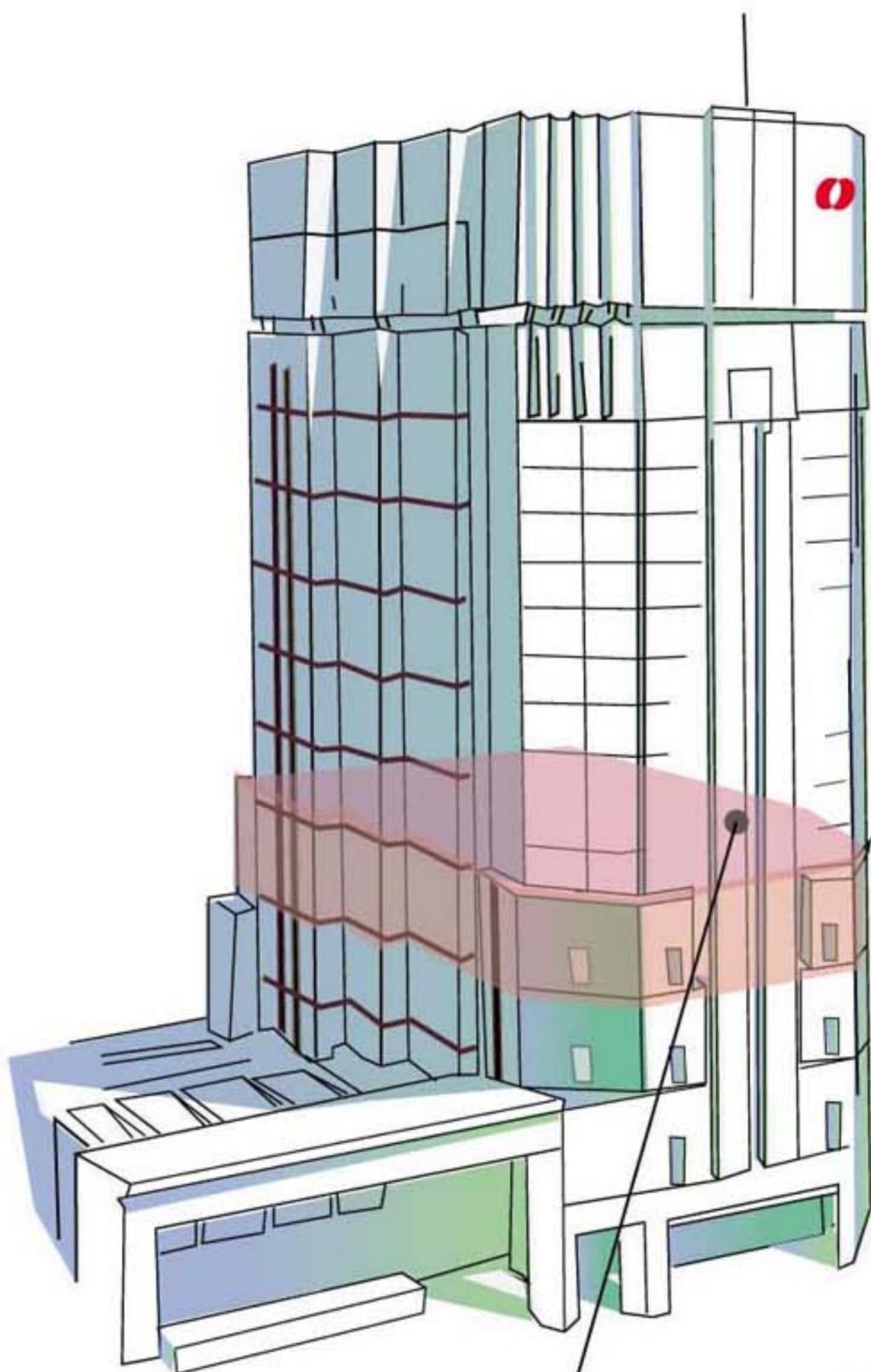
- ・外注先に対する、月1度の勉強会、環境連絡表による環境意識の向上



2002年度取組実績
2003年度目的・目標

2003年度

本社ビル、環境目的・目標 ・具体的施策



4階

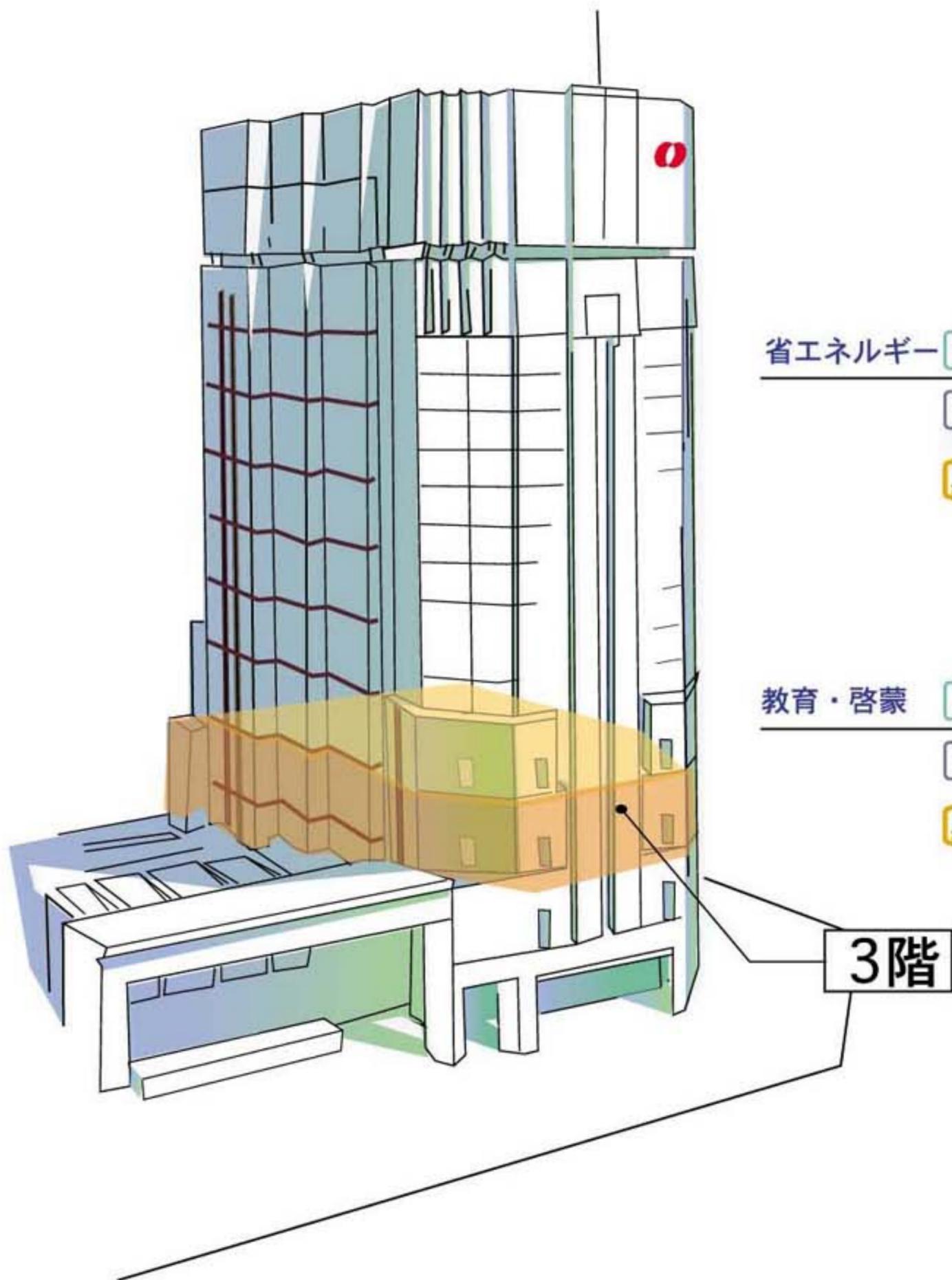
- | | |
|---------------|--|
| 省エネルギー | <p>目的 電気使用量を削減する</p> <hr/> <p>目標 電気使用量を2002年度実績の1%削減</p> <p>具体的施策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・節電の励行（消灯、各種OA機器の節電モードの活用、エレベーターの使用制限等） |
| 省資源 | <p>目的 紙使用量を削減する</p> <hr/> <p>目標 紙の使用量を2002年度実績の1%削減</p> <p>具体的施策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペーパーレス化の推進 |
| 製品 | <p>目的 新製品企画・開発時に発生する食材屑廃棄量を削減する</p> <hr/> <p>目標 食材の廃棄量を2002年度実績の1%削減</p> <p>具体的施策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食材屑の削減 |
| 大気汚染 | <p>目的 商品カタログを再生紙印刷インクは大豆インク使用に変更する</p> <hr/> <p>目標 商品カタログの50%を再生紙、印刷インクは大豆油インク使用に変更</p> <p>具体的施策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商品カタログを再生紙にする。また印刷インクは大豆油インクに変更 |
| 教育・啓蒙 | <p>目的 環境活動の社外への広報活動</p> <hr/> <p>目標 当社が行っている環境活動について広報強化する</p> <p>具体的施策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規ホームページ開設及び既存ホームページのリニューアル |



2002年度取組実績
2003年度目的・目標

2003年度

本社ビル、環境目的・目標 ・具体的施策



省エネルギー **目的** 電気使用量を削減する

目標 売上あたりの電気使用量を
2002年度比1%削減

具体的施策

- ・節電の励行（消灯、エアコンの使用管理）

教育・啓蒙 **目的** 内部の利害関係者の環境意識の向上

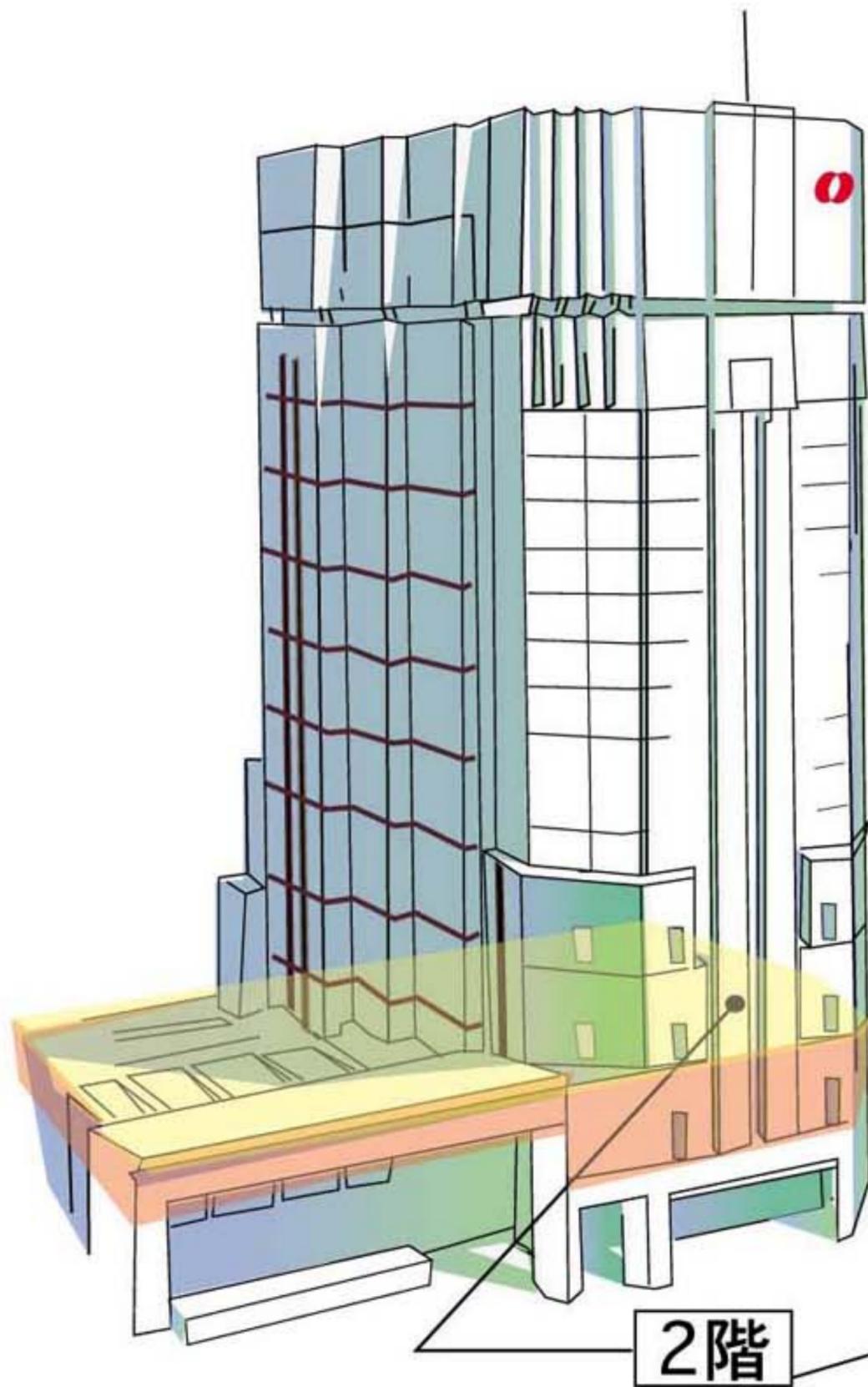
目標 環境意識向上に向けての啓蒙活動の実施

具体的施策

- ・社員に向けた環境意識の啓蒙活動

3階

本社ビル、環境目的・目標 ・具体的施策



省エネルギー **目的** 電気使用量を削減する

目標 売上あたりの電気使用量を
2002年度比1%削減

具体的施策

- ・節電の励行（部署毎に帰社完了時、消灯チェック表に記入することを励行する、また時間外勤務の削減により点灯時間の短縮を図る。）

省資源 **目的** 製品の返品を削減する

目標 売上あたりの製品返品金額を
2002年度比3%削減

具体的施策

- ・得意先に対し返品なしの条件交渉及び賞味期限切れ製品防止のため見切り処分を交渉し削減を図る

目的 販売見本使用量を削減する

目標 販売見本使用量を2002年度実績の
3%削減

具体的施策

- ・販売見本を一元管理による、再利用を行い販売見本の削減を行う

大気汚染 **目的** 営業車使用回数の削減

目標 営業車使用数を2002年度実績
の4%削減

具体的施策

- ・訪問効率の見直し、公共交通機関を利用するノーカーデーを実施し、営業車使用回数を削減する

製品 **目的** 製品クレーム発生の撲滅

目標 製品クレームの発生件数を2002年
度比80%以下にする

具体的施策

- ・クレーム発生原因の追求及び改善策を各工場に指導を行い、再発を防止する



2002年度取組実績
2003年度目的・目標

2003年度

本社ビル、環境目的・目標 ・具体的施策



省エネルギー **目的** 電気使用量を削減する

目標 売上あたりの電気使用量を2002年度比5%削減

具体的施策

・節電の励行（空室等の消灯）

教育・啓蒙 **目的** 来訪者の環境意識の向上

目標 2003年度7月までに環境情報等を商談室に掲示し、来訪者に対する環境意識向上に向けての啓蒙活動を実施する

具体的施策

・外部に向けた環境意識の啓蒙活動

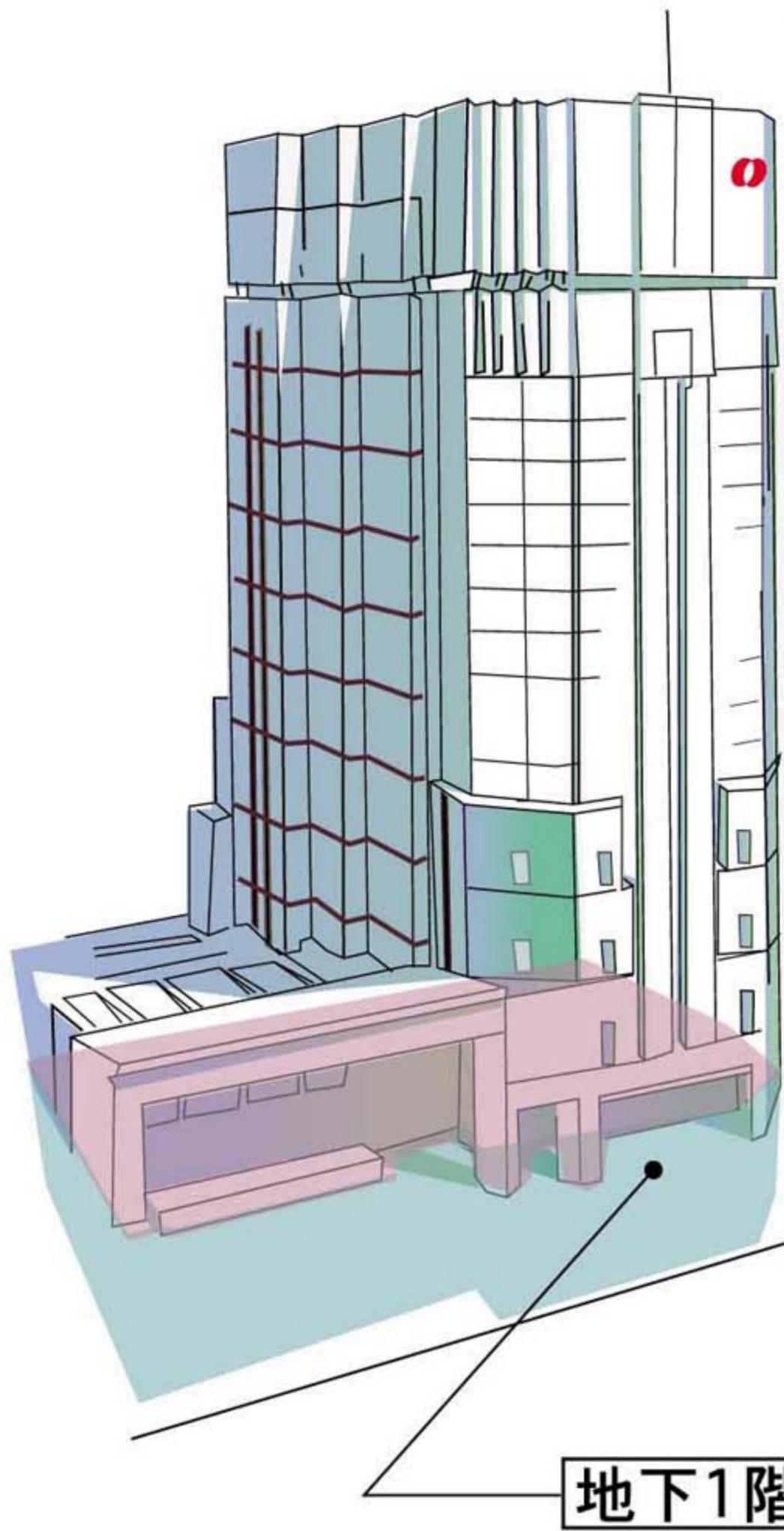
1階



2002年度取組実績
2003年度目的・目標

2003年度

本社ビル、環境目的・目標 ・具体的施策



省エネルギー **目的** 電気使用量を削減する

目標 売上あたりの電気使用量を
2002年度比1%削減

具体的施策

- ・昼食提供後の消灯の徹底を図るため、実施方法の再検討を行い、消灯、点灯の目安時間を決める

省資源 **目的** 厨芥廃棄量を削減する

目標 売上あたりの厨芥廃棄量を
2002年度比1%削減

具体的施策

- ・食材の納品時に出るゴミの削減及び食べ残しを少なくするため納品形態やゴミ回収の方法を再検討する

大気汚染 **目的** 食用油の使用量を削減する

目標 売上あたりの廃油廃棄量を
2002年度比1%削減

具体的施策

- ・廃油の廃棄量をチェックするため、廃棄量をチェックする
- ・再利用回数等を見直す

教育・啓蒙 **目的** 常駐外部社員及び派遣元企業へ環境意識の啓蒙をする

目標 常駐外部社員へ環境教育を4回実施する。
派遣元企業へなとりの取り組みをビデオに収めてCDで配付する

具体的施策

- ・地下1階から火災が発生した場合の連絡体制及び消火、避難方法をつくり、2003年10月中に火災発生を想定して避難訓練を実施する
- ・食産協大学のISO14001のビデオを収録したCDを作成し、葉隠勇進の担当者に送り内容を見てもらい、なとりの環境への取り組みを理解してもらう

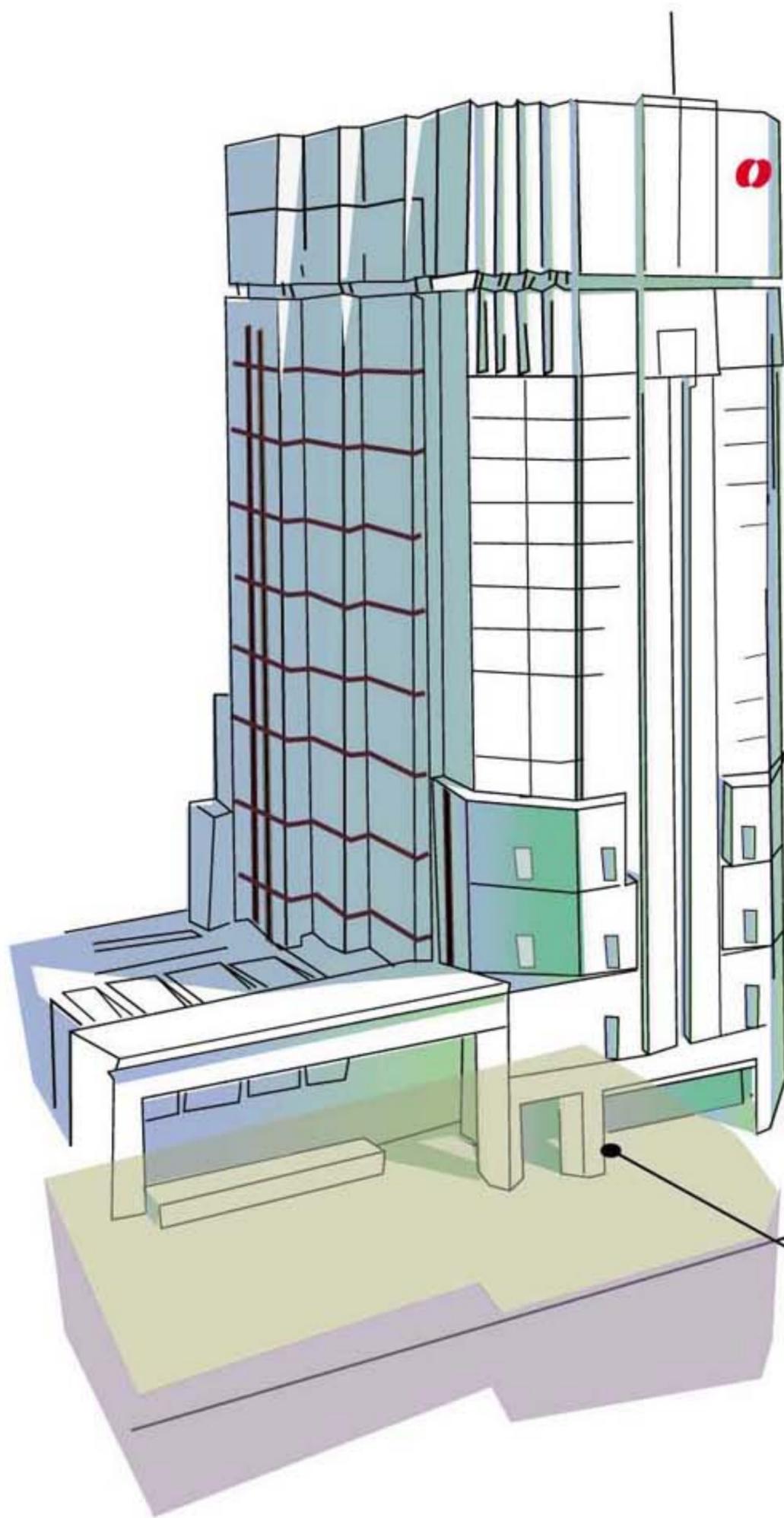
地下1階



2002年度取組実績
2003年度目的・目標

2003年度

本社ビル、環境目的・目標 ・具体的施策



省エネルギー **目的** 電気使用量を削減する

目標 2002年度比電気使用実績から
2,000Kwh削減する

具体的施策

・照明の部分消灯の実施

大気汚染

目的

本社ビル内駐車車両をすべて8都県市指定低公害車に入れ替える

目標

2003年度中に本社ビル地下2階に本拠を持つ車両のディーゼル車を1台低公害車に切り替える

具体的施策

・ディーゼル車の低公害への切替え

教育・啓蒙

目的

地下駐車場入庫車両、運転者への環境意識の向上を図る

目標

2003年度中に本社ビル地下2階に入庫車両の運転者延べ500人に不要なアイドル運転の停止を周知する

具体的施策

・入庫車両運転者へのアイドルリングストップの周知

地下2階